

講演会

終末期医療における心理臨床

『臨死学の試みⅡ』-中世までの死生観-

精神科医 石坂 好樹 先生

人間に等しく与えられた『生』と『死』。対人援助の現場では、よりよい『生』を援助するために常にその背後にある『死』を同時に考えておく必要があります。われわれ人間は古代から現代まで、どのように『死』と向き合ってきたのでしょうか？日本では人の『死生観』に大きく影響を与えたものの一つに仏教が存在しています。仏教はどのように『死』をとらえ、われわれ日本人はどのように影響を受けてきたのでしょうか？

緩和ケアに携わっておられる石坂先生に精神医学的な視点から終末期医療をお話していただき、深めていこうとする2014年の講座の第2弾です。もちろん今回からの参加でも十分学んでいただける講座です。人間の『死』を魂というレベルでとらえる、貴重なお話しが聞ける機会ですので、多数のご参加をお待ちしております。

講師：1948年兵庫県に生まれる。1973年京都大学医学部卒業。その後、京都大学医学部附属病院で卒後研修を受け、公立豊岡病院及び京都大学医学部附属病院の勤務を経て、2003年から京都桂病院精神科に勤務。専門は、臨床精神医学、児童青年精神医学である。
主な著書―「精神療法基礎学序説」「月光のプリズム―心理療法からみた心の諸相」「自閉症考現記」「自閉症とサヴァンな人たち」

日 時

2016年 3月27日（日）午後 2：00～5：00

会 場

日本聖公会 京都教区 研修室（葵橋ファミリー・クリニック 向かい）

（葵橋ファミリー・クリニック玄関の向かい側にある入口よりお入りください）

京都市営地下鉄烏丸線「丸太町駅」下車②出口 京都市バス、京都バス「烏丸丸太町」下車 烏丸通り北へ徒歩約5分

参加費

・AFC 正会員 無料 ・学生 1,500 円 ・一般 3,000 円

対 象

心理、福祉、医療、教育などの対人援助の現場で仕事をしている方
対人援助の専門家を目指して勉強している方（定員 45 名）

（申込書にご所属と職種を必ずご記入下さい）

●お問い合わせ

公益社団法人 葵橋ファミリー・クリニック事務局

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町 376

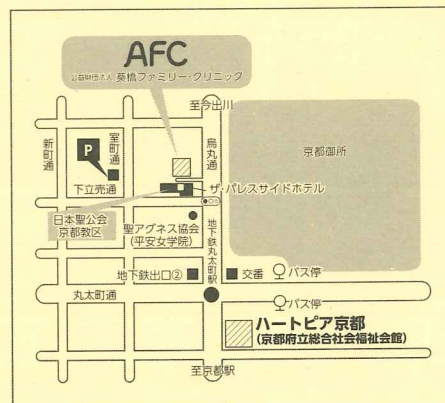
TEL：075-431-9150 FAX：075-431-9158

●申し込み方法

参加希望者は、氏名・住所・電話番号・所属を明記の上、FAX 又は郵送にて事務局にお申し込み下さい。定員になり次第、締め切らせていただきます。折り返しご連絡いたしますので、参加費を郵便振替にてお支払い下さい。振込領収証をもって参加証にかえさせていただきますので、当日受付でご提示ください。

＜郵便振替口座 公益社団法人 葵橋ファミリー・クリニック 01070-9-40788＞

（※お振込後の参加キャンセルにつきましては、返金いたしかねますのでご了承下さい。）



（※駐車場はございませんので、お車での来所の際は最寄の一般駐車場をご利用下さい。）

キリトリ

氏名・年齢	フリガナ (歳) ・AFC 正会員 ・学生 ・一般 (Oを付けてください)
住 所	自宅・職場 (Oを付けてください) 〒
連絡先 (TEL・FAX)	自宅・職場 (Oを付けてください) TEL: FAX:
所 属 (職 種)	(職種:)